

付表 1 規則類とのかかわり

規則類・ガイドライン等	競技者	運営者	プランナ	マップパー	コントローラ
・日本オリエンテーリング競技規則	◎	◎	◎	○	◎
・公認大会開催に関する規則		◎	○		○
・公認大会エリートクラス出場資格規則	○	○	○		○
・競技者登録に関する規則及び同細則	○	○			○
・競技規則および関連規則類の運用に関するガイドライン		◎	○	○	◎
・日本オリエンテーリング選手権(個人競技/リレー競技)実施基準	◎	◎	◎	○	◎
・年度公認大会実施基準(随時)	◎	◎	◎	○	◎
・年齢別ランキング実施基準	○	○	○		○
・コース設定の原則			◎		◎
・コントロールに関する規則	◎		○		◎
・日本オリエンテーリング地図図式	◎		○	◎	◎
・日本スプリント・オリエンテーリング地図図式	◎		○	◎	◎
・コントローラ資格認定に関する規則					◎
・コントローラに関する細則					◎
・大会コントローラ点検リスト		◎	◎	○	◎

◎最低限知っておきたいもの ○知っておくとよいもの

付表 2 オリエンテーリング競技形式の概念と基準

競技形式	ロングディスタンス競技	ミドルディスタンス競技	スプリント競技	リレー競技
コントロール	技術的に難度の高いものを含む	一貫して技術的に難度が高い	技術的に容易	技術的に難度の高いものを含む
ルート選択	広域のルート選択を含む重大なルート選択	中小程度のルート選択	難しいルート選択で、高い集中力を要求	中小程度のルート選択
走行タイプ	体力を要求。持久力とペース配分の判断力を要求	高速度であるが、テレインの複雑性への対応を要求	非常に高速度	高速度。同一のコントロールかどうかわからない他の競技者との接近
テレイン	良いルート選択が可能で体力的にタフなテレイン	技術的に複雑なテレイン	非常に走りやすい公園、街路、森林	いくつかのルート選択が可能で、適度に複雑なテレイン
地図	1:15,000 [JSOM]	1:10,000 (1:15,000) [JSOM]	1:4,000 または 1:5,000 [JSSOM]	1:10,000 (1:15,000) [JSOM]
スタート間隔	Eクラス 2分以上 Eクラス以外 1分	Eクラス 2分以上 Eクラス以外 1分	1分	マス(一斉)スタート
優勝設定時間 (Eクラス)	M21E 90分 W21E 75分	M21E 25~35分 W21E 25~35分	ME 12~15分 WE 12~15分	ME 135分(3人) WE 120分(3人)
まとめ	オリエンテーリングのすべての技術とともに走力と体力が試される。	適度な時間にわたって、速く正確なオリエンテーリングが要求される。小さなミスが致命的となる。	速くて見やすくわかりやすいオリエンテーリングである。多くの観客の前で行う見せるオリエンテーリングである。	3人の走者からなるチーム競技で、接戦を基本とする競技である。観客にとっても競技者にとってもエキサイティングである。

IOF 競技規則 Competition Formats に準じる。

付表 3 公認大会（全日本大会を除く）の実施基準一覧

カテゴリ	カテゴリ A	カテゴリ B	カテゴリ S
主催者	正会員、団体等ほか	正会員、団体等ほか	正会員、団体等ほか
競技規則*1	適用	適用	適用
競技形式*2	ロング、ミドルまたはリレー	ロング、ミドルまたはリレー	スプリントおよび/またはミドル
参加資格*3	競技者登録者（E、A） Eクラス：有資格者	競技者登録者（E、A） Eクラス：有資格者	競技者登録者（E、A） Eクラス：有資格者（主催者が設定）
クラス分け*4	ガイドラインによる。クラス統合可	ガイドラインによる。クラス統合可 Eクラス（オプション）	ガイドラインによる。クラス統合可 Eクラス（オプション）
地 図*5	JSOM 適用。1:15 k または/および 1:10 k	JSOM 適用。1:15 k または/および 1:10 k	JSSOM 適用。1:4 k または 1:5 k
開催時期	年度内	年度内	年度内
参加費	自由に設定	自由に設定	自由に設定
公認料	30,000 円	10,000 円	5,000 円
大会コントローラ	JOA が主催者と協議し、任命	主催者が指名、もしくは JOA と協議し、任命	主催者が指名、もしくは JOA と協議し、任命
報 告	報告書、記録(電子媒体)	報告書、記録(電子媒体)	報告書、記録(電子媒体)
年齢別ランキン グ*6	E、A クラス対象。 競技者登録者のみ。	E、A クラス対象。 競技者登録者のみ。	E、A クラス対象。 競技者登録者のみ。
特 典*7	E 権付与。記録を認定	E 権付与。記録を認定	記録を認定
備 考	従来の東西大会に相当。会員主催大会、 クラブ主催大会等	会員主催大会、クラブ主催大会等	いわゆるパーク O を含む

*1 「日本オリエンテーリング競技規則」および「日本オリエンテーリング競技規則および関連規則等の運用に関するガイドライン」参照。

*2 ロング：ロングディスタンス ミドル：ミドルディスタンス。

*3 B クラスは競技者登録は不要。

*4 ガイドラインによる。B クラスへの参加資格に制限は設けない。N クラスは、フィットネス O として扱う。

*5 原則とする。15 k：15,000、10 k：10,000、4 k：4,000、5 k：5,000

*6 年齢別ランキング実施基準による。

*7 E 権（エリートクラス出場資格）については、「公認大会エリートクラス出場資格規則」による。

付表4 公認大会（全日本大会を除く）のクラス分け基準

クラス分け①		クラス分け②		クラス分け③	
カテゴリ A (B)		カテゴリ A (B)		カテゴリ B、S	
M21+E	W21+E	M21+E	W21+E		
M21+A	W21+A	M21+A	W21+A	M21+A	W21+A
M21+AS	W21+AS	M21+AS	W21+AS	M35+A	W35+A
M35+A	W35+A	M30+A	W30+A	M50+A	W50+A
M40+A	W40+A	M40+A	W40+A	M65+A	W20A
M45+A	W45+A	M50+A	W50+A	M20A	W18A*
M50+A	W50+A	M60+A	W60+A	M18A*	W15A*
M55+A	W55+A	M70+A	W20A	M15A*	W-12*
M60+A	W60+A	M20A	W18A*	M-12*	
M65+A	W65+A	M18A*	W15A*		
M70+A	W20A	M15A*	W-12*	MBL	WBL
M20A	W18A*	M-12*		MBS	WBS
M18A*	W15A*				
M15A*	W12*				
M12*	W-10*				
M-10*					
(年齢による区分)		(年齢による区分)			
M-20B	W-20B	M-20B	W-20B		
M21B	W21B	M21B	W21B		
M35B	W35B	M50+B	W50+B		
M50B	W50B				
M65+B	W65+B	(距離による区分)			
		MBL	WBL		
(距離による区分)		MBS	WBS		
MBL	WBL				
MBS	WBS				

注) 年齢の－（以下）、＋（以上）は制限を示すために便宜上記載したもので、実際のクラス名の表記には必要なくてもよい。

* 当該クラスの者は1ランク上のクラスに参加できる。

付表 5 公認大会におけるエリートクラス出場資格の取得と行使

- ・ ロングディスタンス競技およびミドルディスタンス競技を対象とする。
- ・ 順位は各クラスのエントリー数の 1/2（端数切り上げ）以内の順位とする。
- ・ エリートクラス出場資格を行使できる期間は、取得 2 ヶ月後の月から 1 年後の半期末（9 月または 3 月）とする。
- ・ JOA 強化選手については、当該大会のエントリー締切日時時点で指定されていることを要件とする。

大会 (開催時期)		取得		行使						
		クラス	順位	全日本(ロング)		全日本(ミドル)		公認大会		
				M/W21E	M/W20E	M/W21E	M/W20E	4~9月	10~3月	
前 年 度	全日本 (ロング)	M/W21E	10/5 位以内	○						
		M/W21E	有資格者			○		○	○	
		M/W21E	有資格者***				○			
		M/W20E	5 位以内					○	○	
		M/W20E	有資格者***				○			
		M/W21A	10 位以内					○	○	
	公認 A (4~9 月)	M/W21A	5 位以内					○		
		(10~3 月) M/W21A	5 位以内					○	○	
	公認 B (4~9 月)	M/W21A	3 位以内					○		
		(10~3 月) M/W21A	3 位以内					○	○	
	公認 A (2~3 月 [†])	M/W21E	20/10 位以内					○	○	
	公認 B (2~3 月 [†])	M/W21E	10/5 位以内					○	○	
M/W21A*		10/5 位以内					○	○		
全日本(ミドル) ****	M/W20E	10 位以内		○						
公認 A	M/W21E	20/10 位以内	○		○		○	○		
	M/W21E	有資格者***		○		○				
	M/W21A	5 位以内					○	○		
	M/W21A	10 位以内***		○		○				
	M/W20A**	10 位以内		○		○				
公認 B	M/W21E	10/5 位以内	○		○		○	○		
	M/W21A*	10/5 位以内					○	○		
	M/W21A	3 位以内					○	○		
	M/W21A	5 位以内***		○		○				
	M/W21A	10 位以内***				○				
	M/W20A**	5 位以内		○		○				

M/W20A**	10 位以内				○		
----------	--------	--	--	--	---	--	--

全日本大会（ロング・ディスタンス競技）を年度末（3月）に開催することを前提とする。

- * E クラスを設けない場合に適用
- ** 20A クラスがない場合は 20 歳以下を対象とした最上位のクラス
- *** 20 歳以下の者
- **** 全日本ミドルは公認 A または公認 B にも該当

公認大会開催月に対するエリートクラス出場資格取得時期および行使できる大会

大会開催月	エリートクラス出場資格取得時期	エリートクラス出場資格を行使できる大会（開催日）
4 月	前年度全日本大会 M/W21E クラス有資格者および前年度公認大会のうち 2 月末までの大会においてエリートクラス出場資格を取得した者	6 月～翌年度 9 月
5 月	前年度全日本大会 M/W21E クラス有資格者および前年度公認大会のうち 3 月末までの大会においてエリートクラス出場資格を取得した者	7 月～翌年度 9 月
6 月	前年度全日本大会 M/W21E クラス有資格者および前年度公認大会のうち 4 月末までの大会においてエリートクラス出場資格を取得した者	8 月～翌年度 9 月
7 月	前年度全日本大会 M/W21E クラス有資格者、および前年度ならびに当年度 5 月末までの公認大会においてエリートクラス出場資格を取得した者	9 月～翌年度 9 月
8 月	前年度全日本大会 M/W21E クラス有資格者、および前年度ならびに当年度 6 月末までの公認大会においてエリートクラス出場資格を取得した者	10 月～翌年度 9 月
9 月	前年度全日本大会 M/W21E クラス有資格者、および前年度ならびに当年度 7 月末までの公認大会においてエリートクラス出場資格を取得した者	11 月～翌年度 9 月
10 月	前年度全日本大会 M/W21E クラス有資格者、および前年度 10 月以降、当年度 8 月末までの公認大会においてエリートクラス出場資格を取得した者	12 月～翌年度 3 月
11 月	前年度全日本大会 M/W21E クラス有資格者、および前年度 10 月以降、当年度 9 月末までの公認大会においてエリートクラス出場資格を取得した者	1 月～翌年度 3 月
12 月	前年度全日本大会 M/W21E クラス有資格者、および前年度 10 月以降、当年度 10 月末までの公認大会においてエリートクラス出場資格を取得した者	2 月～翌年度 3 月
1 月	前年度全日本大会 M/W21E クラス有資格者、および前年度 10 月以降、当年度 11 月末までの公認大会においてエリートクラス出場資格を取得した者	3 月～翌年度 3 月
2 月	前年度全日本大会 M/W21E クラス有資格者、および前年度 10 月以降、当年度 12 月末までの公認大会においてエリートクラス出場資格を取得した者	4 月～翌年度 3 月
3 月	前年度全日本大会 M/W21E クラス有資格者、および前年度 10 月以降、当年度 1 月末までの公認大会においてエリートクラス出場資格を取得した者	5 月～翌年度 3 月

公益社団法人 日本オリエンテーリング協会

本原則は、国際オリエンテーリング連盟（IOF）が定める「コース設定の原則」に基づき、フットオリエンテーリングのコース設定について定めるものである。本原則は、「日本オリエンテーリング競技規則」（以下「競技規則」という）11項 および「日本オリエンテーリング競技規則および関連規則等の運用に関するガイドライン」に適用されるものである。

1. 序 文

1.1 目 的

この原則は、オリエンテーリング競技における公正さを保証し、オリエンテーリングというスポーツの特性を維持するために、コース設定の共通基準を確立することを目的とする。

1.2 適 用

国内におけるすべてのオリエンテーリング競技会のコースは、この原則にしたがって設定されなければならない。また、この原則はその他のオリエンテーリング競技におけるコース設定の基準にもなる。

2. 基本原則

2.1 オリエンテーリングの定義

オリエンテーリングとは、競技者が地上に印されたいくつかの地点（コントロール）を、地図とコンパスを使用して、可能な限り短時間で走破するスポーツである。

2.2 コース設定の狙い

コース設定の狙いは、競技者に要求される能力に合わせて、適切に設計されたコースを提供することである。競技成績は、競技者の技術的・体力的能力が反映されるようであればならない。

2.3 コース設定の大原則

コース設定者は、以下の原則を念頭におかななければならない。

- ・ 走りながら方向決定（ナビゲート）するというオリエンテーリング独自の特性
- ・ 競技の公正さ
- ・ 競技者の楽しみ
- ・ 野生生物および環境の保護
- ・ メディアと観客のニーズ

2.3.1 オリエンテーリング独自の特性

どのスポーツも独自の特性を持っている。オリエンテーリング独自の特性は、未知のトレインで時間と戦いながら最も適切なルートを発見し、それを辿ることである。そのためには、正確な地図読み、ルート選択の判断、コンパスワーク、集中力、素早い判断、自然の地形での走力などの、オリエンテーリング技能が要求される。

2.3.2 公正さ

公正さは、競技スポーツの基本的な条件である。コースプランニングおよびコース設定の各段階において最大限の注意をはらわなければ、オリエンテーリング競技が運に大きく左右されることになってしまう。競技が公正であり、コースのどの場面においてもすべての

競技者が同条件であることを保証するために、コース設定者はすべての要因に配慮しなければならない。

2.3.3 競技者の楽しみ

参加したコースに競技者が満足しない限り、オリエンテーリングの人気を高めることができない。したがって、コース距離、技術的・体力的難易度、コントロールの位置など、コースが適切であることを保証するために、注意深いコース設定が必要である。この点で、それぞれのコースがそのコースに参加する競技者に適していることがとくに重要である。

2.3.4 野生生物と環境

環境は繊細である。野生生物は悪影響を受け、地面や地表の植物は痛めつけられるかもしれない。環境には、地域の住民、柵、塀、耕作地、建物、およびその他の建造物も含まれる。

最も繊細な地域への影響を避ける方法を見つけることは可能である。繊細な地域においても適切な事前注意とよく練られたコースであれば、損害を与えることなしに大きな大会が開催できることを経験と調査が示している。特定の場所への立入りやトレイン内の繊細な地区をコース設定者が事前に確認していることが非常に重要である。

2.3.5 観客とメディア

コース設定者は、オリエンテーリングというスポーツのより良い社会的なイメージを持たせるために、つねに関心を払うべきである。コース設定者は、競技の公正さを損なわないようにしながら、観客とメディアが競技の進行状況をより詳しく知ることができるように努力すべきである。

3. オリエンテーリングコース

3.1 テレイン

テレインは、すべての競技者が公正な競技ができるように選定されなければならない。オリエンテーリングの特性を維持するためには、テレインは走行可能で競技者の技能を競うのに適しているべきである。

3.2 オリエンテーリングコースの定義

オリエンテーリングコースは、スタート、コントロールおよびフィニッシュにより規定される。

これらの地点は、地図上に示したとおり正確にテレインに設置される。これらの地点間をレッグといい、レッグをつないだものがコースである。

3.3 スタート

スタート地区は以下のようにすべきである。

- ・ ウォーミングアップエリアが存在すること。
- ・ スタートした競技者のルート選択が待機中の競技者に見えないこと。

オリエンテーリング開始地点には、パンチ器具のないコントロールフラッグを設置し、地図上に正三角形で示す。ここから実際のオリエンテーリングが始まる。

3.4 レッグ

3.4.1 よいレッグ

レッグは、オリエンテーリングコースで最も重要な要素であり、コースの質の大部分はこれにより決められてしまう。

よいレッグは競技者に面白い地図読みという課題を提供し、様々なルート選択へと導く。

そのために以下の事項について考慮しなければならない。

- 一つのコース内に異なる種類のレグを設定する。
(例) 細かな地図読みを要求するレグやより単純に走るルートを選択できるレグを含む。
- 競技者に様々なオリエンテーリング技能や走行スピードを要求するようなレグの長さや難易度に変化をつける。
- 競技者にたえず方向確認をさせるため、連続するレグの方向に変化をつける。

なお、均等でかつ質の低いレグがたくさんあるコースより、むしろ質の高いレグを短くつなぐ方が望ましい。

3.4.2 レグの公正さ

どのレグにも、競技中に地図から読み取れない有利・不利のあるルートがあってはならない。競技者を立入禁止や危険な地域に導くようなレグも避けなければならない。

3.5 コントロール

3.5.1 コントロール位置

コントロールは、地図上に表示されるトレイン内の特徴物（部）に置かれる。順番が指定されている場合には、ルート選択が異なっても順番に回らなければならない。このために注意深いプランニングと公正さの確認が要求される。

とくに重要なことは、地図上でコントロール周辺の地形が正確に、かつどのような方法でアタックしたとしても、方向と距離が正しく描写されていることである。

地図上に助けとなる他の特徴物がなければ、近づかなければ見ることができない小さな特徴物に置いてはならない。

異なる方向からアタックする競技者にとって、コントロールフラッグの見えやすさの違いが、地図やコントロール位置説明から判断できない場所に置いてはならない。

3.5.2 コントロールの機能

コントロールの主な機能は、レグの始めと終わりを示すことである。時として立入禁止や危険な地域を回避させるためなど、特別の目的に使用されることもある。また、コントロールは、給水やメディア・観客のためのものとしても利用できる。

3.5.3 コントロールフラッグ

コントロール用の器具は、競技規則に準拠していなければならない。

コントロールフラッグは可能な限り、コントロールの置かれた特徴物に近づいてはじめて見えるように置くべきである。公正さのためには、コントロール近くに競技者が居るか居ないかにかかわらず、コントロールの見つけやすさが同じになるようにすべきである。コントロールフラッグは隠すべきではない。コントロールの位置に到達した競技者がフラッグを探さなければならないような位置に設置すべきでない。

3.5.4 コントロール位置の公正さ

コントロールの設置位置には細心の注意を払い、パンチして出ていく競技者が、アタックしてくる競技者をコントロールに導くような出入りを避けるようにしなければならない。

3.5.5 コントロールの近接

異なるコースのコントロールが互いに近接しすぎると、コントロール位置に正確に近づいた競技者を惑わす可能性がある。

コントロールは 30m 以内に近接して設置すべきでない。(地図の縮尺が 1:5000 や 1:4000 の場合は 15m 以内) さらに特徴物が同じコントロールは、60m 以内(地図の縮尺が 1:5000

や 1:4000 の場合は 30m 以内) に近接すべきでない。

3.5.6 コントロール位置説明

地図に表示された特徴物とコントロールとの関係はコントロール位置説明によって明示される。地上の正確なコントロール特徴物と地図上に表示された地点は一致したものでなければならない。「コントロールに関する規則」で定めるコントロール位置説明によって明確で容易に表示できない位置には、コントロールを設置すべきではない。

3.6 フィニッシュ

フィニッシュラインへのルートの少なくとも最後の部分は、マークルートによって誘導すべきである。

3.7 地図読みの要素

良いオリエンテーリングコースでは、競技者はたえずナビゲーションに集中することが要求される。

地図読みやナビゲーションへの集中が要求されない区間は、特別なルート選択の場合でない限り避けるべきである。

3.8 ルート選択

ルートに複数の選択肢があると、競技者に、地図からの地形の判断や予測を要求することができる。それによって競技者個々に独自の考えを求め、それぞれのルートに分散させる。その結果、‘追従’の可能性が少なくなる。

3.9 難易度

どのようなトレインや地図であれ、コース設定者は様々な難易度のコースを設定することができる。レッグの難易度は、競技者が線状特徴物に沿ったルートを通る程度によって変えられる。競技者が、地図から得られる情報によってコントロールへの接近の難易度を判断し、適切な技術を選択できるようにすべきである。

競技者に要求される技能・経験・地図読み能力に注意を払うべきである。初心者や子どものコース設定には、難易度を適切にすることをとくに留意すべきである。

3.10 競技の形態

コース設定では競技の形態によって特有の要求があり、これに配慮しなければならない。例えばスプリントおよびミドルディスタンス競技のコース設定では、細かい地図読みとコース全般にわたる高い集中力が要求される。リレー競技では、競技の経過を知りたいという観客の要求を配慮すべきである。

3.11 コース設定者が目標とすべきこと

3.11.1 テレインを知ること

コース設定者は、どのようなコントロールやレッグを使用するか決める前に、テレインを熟知すべきである。また、コース設定者は使用地図およびテレインの状態がコース設定時と大会当日とでは変わる可能性があることを意識すべきである。

3.11.2 難易度を適切にすること

初心者や子どものコースを難しく設定しがちである。コース設定者は、自分自身のオリエンテーリング技能や調査する時の歩行スピードに基づいて、難易度を評価しないように注意すべきである。

3.11.3 公正なコントロール位置を使用すること

可能な限りよいレッグを設定しようとするあまり、不適当なコントロール位置を使ってしまう場合がある。競技者はよいレッグとすばらしいレッグとの違いにほとんど気づかない

が、コントロールが隠されていたり、曖昧であったり、誤解を招くような位置説明などのために予期せぬロスタイムをすると、その違いに敏感である。

3.11.4 コントロールを十分に離して置くこと

コントロールにはコントロール識別番号がついているが、正しく進行してきた競技者が誤って導かれるほど近接してコントロールを置くべきではない。

3.11.5 過度に複雑なルート選択を避けること

コース設定者は、誰も選ばないルート選択が見え、複雑な課題を設けるために時間を費やすかもしれないが、競技者は‘次善’の’ルートを選択することによって、考える時間を節約するかもしれない。

3.11.6 身体的に厳しすぎないコースにすること

競技者の能力に合わせ、その能力の水準で大部分を走り切れるようなコースを設定すべきである。コースの登距離の合計は、現実的なルート距離の4%を越えないことが望ましい。トレインの制約などがあり、やむをえず逸脱する場合でも6%を越えないようにすべきである。

4. コース設定者

コース設定者は、経験を積むことによって良いコースの本質を理解し、提供できるような能力を身につけなくてはならない。

また、コース設定の理論に精通し、クラスの違いや競技形態の違いによる特有の要求を正しく認識していなければならない。

コース設定者は、トレインの状態、地図の質、競技者や観客など競技に影響を与える可能性のある様々な要因を、現場で判断できなければならない。

コース設定者は、各コースおよびスタートからフィニッシュまでの競技進行に責任を持つ。コース設定者の仕事は、大会コントローラによって確認されなければならない。これは潜在するミスの可能性を排除するために必須である。

平成 22 年 5 月 23 日改正

平成 25 年 1 月 12 日改正

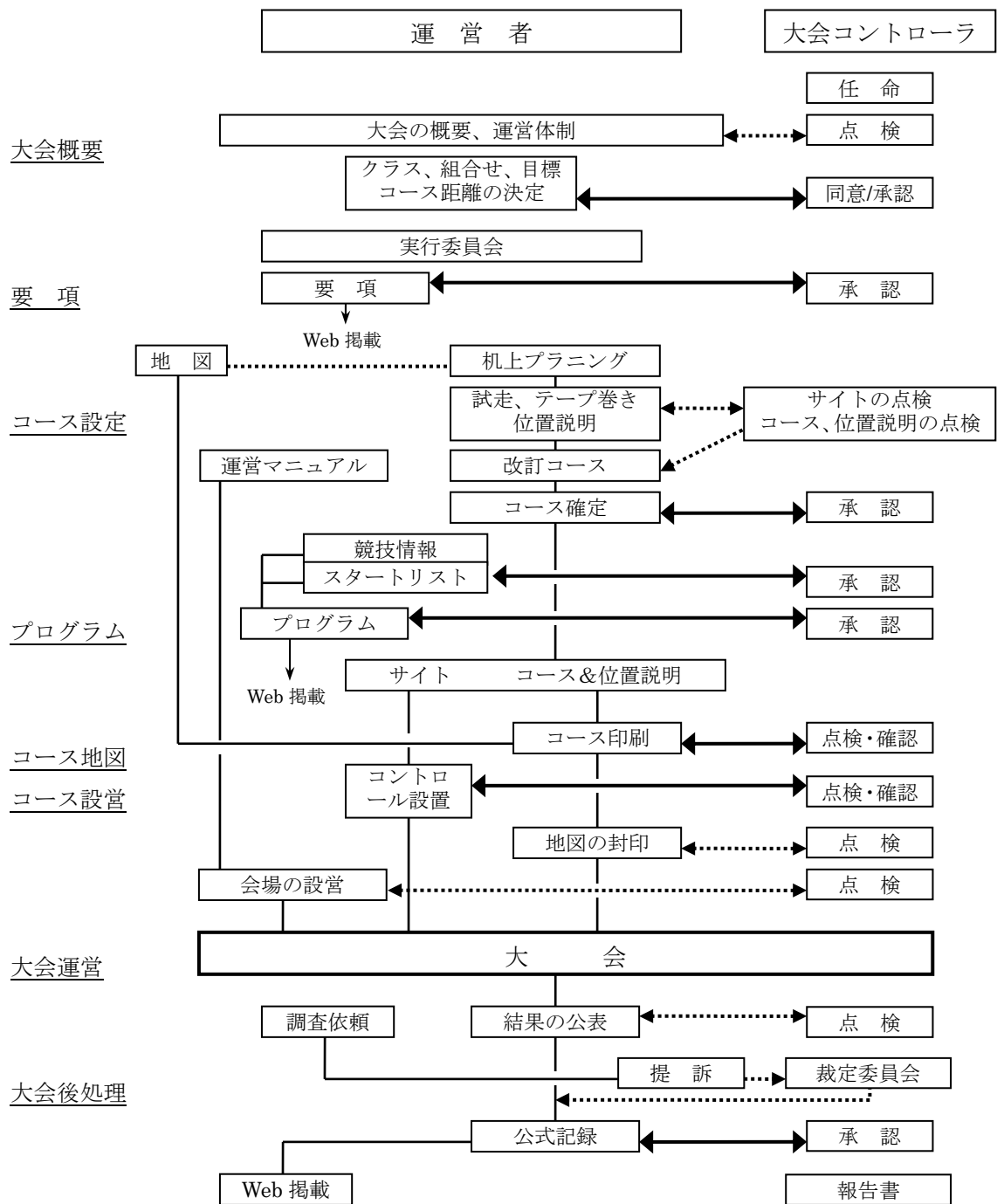
平成 28 年 2 月 7 日改正

1. 大会コントローラの任務

大会コントローラの主要な任務は、大会において競技規則をはじめとした諸規則が遵守され、競技が公正に運営されていることを点検・確認することである。

2. 大会におけるコントローラのかかわり

一般的な大会における大会コントローラのかかわりの例を図に示す。多くの段階で点検、承認が必要となる。この点については、運営者も認識しておくことが肝要である。



3. 点検項目

3.1 大会開催決定時（6ヶ月～1年前）

通常、大会コントローラは大会開催決定後に任命されることが多いが、以下の点について把握、点検する。

- ・ 大会計画の概要
 - テレインはオリエンテーリングに適しているか？
 - 地元、土地所有者の了解はとれているか？
 - 制約条件、立入り禁止区域等は把握されているか？
 - 競技形式に適しているか？
 - 地図の手配は？（新規、リメイク、既存地図）
 - 大会開催日は問題ないか（例 他の行事、狩猟期間）？
 - 交通の便、駐車場の確保等に問題はないか？
- ・ 運営体制
 - 実行委員長、運営責任者、競技責任者、コースプランナーは決まっているか？
 - 運営体制は？
 - 全体のスケジュールに無理はないか？
- ・ テレインについて
 - クローズとするのか？
 - テレインを含む旧地図はあるのか？
- ・ 地図について
 - 使用する地図図式は？
 - 規則に合っているか？（縮尺、最小表示寸法、特殊記号等）
 - 新規地図（リメイクを含む）： 調査者、作図者は？ 作成スケジュールは？
 - 既存地図： 修正箇所はないか（修正方法は）？
 - テレインに関わる旧地図は？ その情報の公開は？

3.2 要項作成段階（～遅くとも大会3ヶ月前）

- ・ 記載事項（競技規則 7.2）に漏れはないか？
- ・ 競技規則からの逸脱事項（例 クラス分け、優勝設定時間等）： <承認事項>
 - その理由は明確か、矛盾は生じないか、また内容は適切であるか？
 - 要項に記載されているか？
- ・ 個人情報に関する記載はなされているか？
- ・ 要項の配布方法および配布計画は？
- ・ そのほかの広報手段（例 Web）は？

3.3 コース設定（コースが確定するまで）

<承認事項>

3.3.1 コースの概要（机上プランニングの段階）

- ・ コースプランニングのコンセプトは？
- ・ 「コース設定の原則」に適合しているか？
 - 技術的要求と体力的要求は満たされるか？
 - 競技者の流れに問題はないか？
- ・ 優勝設定時間（ウィニングタイム）は適切か？
 - 設定の根拠（試走タイム、過去のタイム等）は妥当か？

- 最若年層のクラスで長すぎることはないか（15~20分でもよい）？
- ・ スタート、フィニッシュの位置は適切か？
- 3.3.2 コースの点検（サイトでの点検を含む）
 - ・ クラスとコース数：
 - クラスに見合ったコースとなっているか？
 - Eクラスのコースは他のクラスと分離されているか？
 - ウィニングタイムは適切か？
 - ウィニングタイムの算出方法は妥当か？
 - コントロールの通過人数は適切か？
 - クラス統合・分割の必要性は？
 - ・ コントロール位置：
 - コントロール位置の公平性は確保されているか？
 - 明確に地図上に表記・表現されている特徴物か？
 - レッグとしてコントロール位置は適切か？
 - 隣接コントロールとの距離（30m、60m）は確保されているか？
 - 大きな特徴物の場合、その位置を地図上および現地で特定できるか？
 - 意味のないコントロールはないか？
 - 隣接するコントロールで紛らわしいコントロール識別番号が使われていないか？
 - ・ コントロール位置説明：
 - コントロールに関する規則の表記に適合しているか？
 - 日本語併記の必要はないか？
 - 補助説明（方位、寸法等）は示されているか？
 - ・ 立入禁止区域、危険区域等に配慮しているか？
 - ・ 誘導区間、通過地点は適切か？
- 3.4 コース地図
 - ・ 全コントロール図による一元管理：
 - コントロールの修正・変更等が全てのコースに反映できるシステムとなっているか？
 - コース図の作成方法と確認方法は？
 - コントロール円の中心は正しく特徴物にあるか？
 - コントロール番号、コントロール円、レッグ線が重要な特徴物を邪魔していないか？
 - コントロールを結ぶ結合線は適切か？
 - 立ち入り禁止区域等に対する記載は適切か？
 - ・ 印刷方法
 - オフセット印刷： 印刷ずれのチェック、色合い
 - （オンデマンド印刷：）
 - プリンタによるオーバープリント： 印刷ずれのチェック（許容範囲）
 - プリンタ出力： 混色処理（透明化）はなされているか？ 出力見本は？
 - ・ 位置説明
 - コントロールに関する規則に従っているか？
 - 競技者への配布（配布方法）は？

- ・ 地図のサイズは適切か（大きすぎることはないか）？
- ・ 記載事項に漏れはないか？ ノースマーク、凡例、リザーブ欄など
- ・ 地図記号に特殊記号は使用しているか？ 凡例、プログラムに記載されているか？
- ・ 地図交換がある場合、その方法に問題はないか？
- ・ 耐水処理の方法は？（耐水紙、プラスチック袋封入、耐水コート処理）
- ・ 完成地図の管理方法は？
- ・ 予備の地図は用意されているか？

3.5 スタートリスト

<承認事項>

- ・ スタート時間間隔：
 - エリートクラスは規則の時間間隔（2分以上）が保たれているか？
 - 若年層クラスの時間間隔は妥当か？
 - 同一コースとなる異なるクラスの時間帯は適正か？
- ・ スタート順：
 - スタート順の決定方法は？ ランダムになっているか？
 - 同一クラブ等の競技者が続いているか？
 - 予選・決勝方式の場合、規則あるいは予め公表した順になっているか？
 - オープンクラスの参加者が正規クラスの競技者に影響を与えることはないか？
 - 複数日大会の場合、スタート時刻（時間帯）は配慮されているか？

3.6 プログラム

<承認事項>

- ・ 記載事項（競技規則 10.2）に漏れはないか？
- ・ 競技規則、地図図式等からの逸脱事項は明記されているか？
- ・ 競技時間に関する記述はされているか？
- ・ スタート方法、フィニッシュ方法、電子パンチ等に関する記載は十分されているか？
- ・ 会場へのアクセス、緊急時の対応等、わかりやすく記載されているか？
- ・ ドーピング（実施する場合）に関して記述されているか？
- ・ 傷害保険等に関して記述されているか？
- ・ 個人情報に対する配慮はなされているか？
- ・ スポンサー等への配慮がされているか（広告等は指定どおりになっているか）？
- ・ プログラムの配布方法は？ Web への掲載は？

3.7 コース設営

3.7.1 スタート

- ・ 会場からスタート地区への誘導および標識（テープ等）は適切か？
- ・ ウォーミングアップエリア、待機エリアは確保されているか？
- ・ 地図の配布場所、方法に問題はないか？
- ・ 位置説明の配布は行うのか？ その方法は？
- ・ 電子パンチ使用の場合、その対応（クリア、チェック体制等）はできているか？
- ・ スタート時刻の表示はわかりやすいか？

3.7.2 コントロール設置

- ・ コントロールの設置は適切に行われているか（競技規則 17）
- ・ コントロールフラッグ、支持台にぐらつきはないか？
- ・ コントロール識別番号は見やすく適切に表記されているか？

- ・ 通過人数に見合ったパンチ台が用意されているか？
- ・ 電子式パンチの作動状況に問題はないか？
- ・ 電子式パンチ（SIシステム）の場合、予備（バックアップ）のパンチが用意されているか？

3.7.3 フィニッシュ（ゴール）

- ・ 誘導を含めてフィニッシュレーンおよびフィニッシュの方式に問題はないか？
 - 誘導はわかりやすいか？
 - 20m以上の直線部分を確保することが望ましい。
 - 下り勾配になっていないか？
 - パンチングフィニッシュの場合、十分な数があるか？ 配置は問題ないか？
- ・ フィニッシュラインは明瞭か？
- ・ リレーにおいては、着順判定員が配置されているか？

3.7.4 その他

- ・ 公式掲示板は用意されているか？
- ・ 給水所は適切に配置されているか？
 - ウィニングタイム 45分以上のコースには必要である
 - スタート地区まで距離がある場合、給水を設けることが望ましい。
 - 夏場にはとくに配慮が必要である。
- ・ 救護所および緊急時の体制はとられているか？
 - 救急用具・備品は用意されているか？
 - 必要に応じて、医師、看護師は配置されているか？
 - 病院、警察等、緊急の場合の連絡体制は確実か？
- ・ コントロールフラッグ、パンチ台等、緊急時の予備は用意されているか？
- ・ コース管理体制は明確になっているか？

3.8 大会当日の運営体制

- ・ 事前にマニュアルが作成され、担当者に周知されているか？
- ・ 雨天時の対応は十分か？
- ・ 緊急時の対応はできているか？
 - 救急体制
 - 各種トラブル対応
- ・ コントロール、電子パンチ（SI）の作動の確認体制は適切か？

3.9 計時および記録

3.9.1 計時システム：

- ・ 使用するシステムは？
- ・ 実績は十分か？ また、システムに熟知したスタッフがいるか？
- ・ トラブルへの対応はマニュアル化されているか？
- ・ バックアップシステムは十分か？

3.9.2 速報

- ・ 方法は？

3.9.3 調査依頼（苦情処理）

- ・ 対応体制ができていないか？（調査依頼は運営者・競技責任者が対応する）

3.9.4 公式記録

<承認事項>

- ・ 記録のチェック体制はできているか？
- ・ 調査依頼、提訴の結果が反映されているか？
- ・ JOA 記録の認定のための書式に沿っているか？

4. 裁定委員会

- ・ 裁定委員は決まっているか（裁定委員は主催者が指名する）？
- ・ 大会コントローラが議長を務める（議決権はない）。
- ・ 提訴があった場合に直ちに裁定委員を招集できるか？
- ・ 提訴に関する資料は十分揃っているか？
- ・ 必要に応じて、当事者および関係者から聞き取りが可能か？
- ・ 裁定委員会の決定は最終である。

5. 報告書

- ・ 大会コントローラは、大会終了後 1 ヶ月以内に JOA に報告書を提出しなければならない。
- ・ また、都度の点検結果を速やかに主催者に報告しなければならない。
- ・ 規則からの逸脱事項およびその承認理由を記載する。
- ・ 提訴があった場合は、裁定委員会に提出された資料、結論に至る過程を記載する。
- ・ 調査依頼の内容、救急処理など特記事項は、その概要を記載する。

6. 参考資料

- ・ 日本オリエンテーリング競技規則
- ・ 日本オリエンテーリング競技規則および関連規則類の運用に関するガイドライン
- ・ 公認大会開催に関する規則
- ・ 公認大会エリートクラス出場資格規則
- ・ 日本オリエンテーリング地図図式（JSOM2007）
- ・ 日本スプリントオリエンテーリング地図図式（JSSOM2007）
- ・ コントロールに関する規則（JSCD2008）
- ・ コース設定の原則

以上は「オリエンテーリング諸規程集」のほか、最新の規則類は JOA ホームページに掲載しているので、最新のものを準備されたい。

このほか、以下のものが参考になる。

- ・ 村越真：「コントローラガイドライン」、平成 11 年コントローラ講習会資料

平成 18 年 9 月作成
平成 19 年 3 月修正
平成 19 年 5 月修正
平成 20 年 3 月修正
平成 22 年 5 月修正
平成 25 年 1 月修正
平成 28 年 2 月 7 日改正